

お客様紹介

天星製油株式会社 様

〒434-0003

静岡県浜松市浜北区新原3833-1

TEL 053-586-9911

FAX 053-586-9915

http://www.tenboshi.com



本社構内写真。原料・製品とも地下タンクに貯蔵され、配管は露出になっています。これにより、安全が確保されています。

天に輝く星のように...

天星製油株式会社様の名前の由来は、現在の会長（鈴木社長の実父）が星が好きであったことから“天に輝く星のような会社になろう”の思いで命名され、さらに昭和21年天ぶら油収集からの創業であったこと、また天竜川の天の字から由来しています。

鈴木社長の考えとして、社員には自由に活動をさせる中、お客様先に存在感を残すような活動をする考えがあります。例えば、固定電話の保留時に天星製油のコマーシャルソングを流す・軍手やボールペンなどの粗品とそのデザイン・タンクローリーのロゴのデザイン・ラジオコマーシャル等、プロジェクトを組み、社員からのアイデアをどんどん採用し実践しています。

社内教育では、3カ月毎に全社員参加の漏油事故訓練や安全運転の心がけとしてKY訓練、トラックメーカーの車両の安全についての講習会等を行っています。



写真左より、前島営業2課長、鈴木社長、峰村精製課長。



事務所内が明るく、ステキな女性職員の方々。左より、下島様、鈴木常務取締役、新村様、袴田様

また、新工場では、構内から出る排水・雨水は13か所にも及ぶ分離槽を通り、最終50KL容量のクッションタンクを経由して放流されます。放流する水は、毎月1度検査機関による水質検査（近隣住民との協定）を実施し、社内でも水質の自主検査を実施しています。

このように社員の意見の尊重と安全教育には力を注いでおられ、また、近隣については住宅と畑等もあるので、環境への配慮がなされています。

需要家様の声

再生油の供給先であるメロン農家を視察させていただきました。メロン農家の原様は、何となくとも、廃食油を使いたいという思いで、自らが酷寒期対策やメンテナンスの工夫をしておられました。需要家と供給する側の連携が見事に図られ、その成果が立派なメロンとして、結実しています。メロン農家の間では、「天星製油の油をつかっている」と口コミで広がっています。お客様に誠意を尽くし、「ここだから、安心だね」と、言っていたいただいています。

サービス強化

昨年12月には、山梨営業所を新規開所され、山梨県内をきめ細かく、スピーディに対応することが可能になりました。「山梨県は規制が厳しいところ。そのなかで、山梨県の法令を満たし、産業廃棄物収集運搬積み替え保管場所の許可を得て、廃棄物収集・配送の効率・コストが改善された。今まで以上にお客様へのサービス強化がはかられる。お客様から、情報をもったり相談していただけるよう信頼関係を築き、地域に貢献していきたい」と、鈴木社長から力強いお言葉をいただきました。（聞き手 松下、長野）



メロン農家の原様とハウス内でたわわに実った、クラファンメロ。あまりのおいしさに今年もクイスの賞品にします。



神西湖一斉清掃

3月25日、毎年恒例の神西湖一斉清掃が行われ、約400名の参加がありました。当日は悪天候で大変風が強く、白波がたって沿岸に打ち寄せ、足元がぬれながらの作業でした。

1時間足らずで、ゴミは集められ、とてもきれいになりました。ゴミは約200袋になり、また、今年は特に流木が多く見受けられました。



参加された皆さん強風の中、お疲れ様でした。（長野）



研修報告

『ほめる経営』実践法を受講して

今回のセミナーに参加して「ほめる」ことによって人が成長することがわかりました。「ほめる」とは人や物や出来事の価値を発見することだそうです。特にその人が持っている価値を見出し、それに気づき、そして伝えることが大切です。また「ほめる」ことで脳が活性化され、組織も活性化される効果があります。

「ほめ達」（ほめる達人、価値を見つける達人）は言葉の3D（でも、だって、どうせ）という言葉は使いません。口癖にすべき言葉は3S（すごい、素晴らしい、さすが）です。この魔法の言葉を使い、自分の脳の活性化をさせることで考え方を換え、「ほめ脳」にしていきたいと思えます。その結果心の視野が広がり、ピンチの中にチャンスを見つけることができます。また欠点しか見えなかった人の活かせる能力が見つかるはずですよ。

人が成長するには「自己効力感」が関係しているようです。自己効力感のポイントは
・成功体験…スモールステップ（小さい成功体験から）
・モデリング…成功者をモデルにする。見本を見せる

・言語的説得
・具体的にほめる
・場の空気作り
などがあります。この4つのポイントをつかんで活用することもほめ達としての重要な役割だと思います。特に場の空気作りは組織の力を高めるためにはとても重要なことだと感じます。

今回のセミナーで学んだ「ほめる」ことで「ほめ達3級」として人材と組織を活性化するように実践していきたいと思えます。（岸本）



講師の西村先生(写真右)と岸本社員



「働く君に贈る25の言葉」を読んで

私が山陰興業に入社して、14年目になります。「山陰興業に入りたい」という思いより、「こういう仕事がしたい」という思いのほうが強かったように思います。

当時、お客様と接する仕事がしたく入社したのですが、廃油回収業務で道が覚えられるだろうか、お客様の名前と顔が覚えられるだろうか等のことを思っていました。

人が「働く」理由は、「生活のため」です。しかし、「生活できるくらい」の仕事と軽視するとその程度の仕事しかできないと思います。

目の前の仕事を一生懸命こなすことにより、それが成果につながり、やりがいを感じ、やりたいことが見つかると思えます。

やりがいと「欲をもって」日々の仕事をこなしたいと思えます。（横地）

元気の出る言葉

中村天風師

他人の好意は常に大きな感謝で受け入れる

大きなことだったなら、有難がるが、小さな事だったら当たり前というようにひとが多いように思う。
特に最近は、感謝の念が薄くなったように感じます。
どんなに小さな事でも、他人の好意は常に大きな感謝で受け入れることです。

（長野）



トサミズキの花。高知（土佐）に野生のものが多く見られ、また、葉はミズキに似ています。マンサク科。



『自分自身の感性を磨く』

現在、会社のタンクローリーにバックモニターの装着を進めている。ある事故がきっかけになったが、非常に便利なもので、今やトラックだけでなく軽自動車にも装着されている。

先日バックモニターを装着した車に乗る機会があり、見えないところが見えることに感動した。最初は何回も切り直していたが、慣れてくるとなんだか運転が上手くなったような気がした。

ところが、自分の車にはモニターはついていないのである。「バックモニターがついた車に慣れたら、ついていない車に乗れなくなるのではないか」という不安が生まれてきた。モニターがあれば、安全性は格段に高くなる。事故も確実に減るだろう。

しかし、便利な装置やしぐみに頼りすぎることは、本来人間が持っている能力を退化させていくのではないかと思う。危険を察知する僅かな変化や異常に気づかなくなるのではないだろうか。危険に対する「勘」が働かなくなる気がする。勘は経験から生まれるもので、機械や装置、しぐみは、それを補うための道具であり、万能ではない。最後は人が判断するのである。

事故や問題が起こると「装置が悪い」「しぐみが悪い」と言いがちであるが、その前に装置やしぐみを使う「人」に気の緩みや思い込みがなかったのかを最初に考えることが必要だと考えます。(安原)

社長が薦める今月の一冊 賢い人ほど失敗する

要領が悪い人でも成功するヒント
高原慶一朗著 PHP研究所刊



この本は再度登場です。高原会長は、2004年1月合理化協会の新春セミナーの講師として私は初めて学びました。四国川之江の製紙会社から興して、ユニチャームを世界的な会社に成長させた名経営者です。私の尊敬する師匠の一人です。

その時購入したこの本を毎日一章ずつ読み続けています。こんな一章があります。

《仕事のモチベーションをやる気に求めてはダメだ。「とにかくやること」を毎日の習慣にしておこう。その継続から力が蓄えられる。私は格別すぐれた能力を持った人間ではありませんが、「習慣になるまでやめない」才能にだけは恵まれたようです。P78～79》

つい私が自分の能力のなさを言い訳しそうになったとき、こんな名経営者自から「格別すぐれた能力持っていない」と言われて、もしかして自分も出来るのではと錯覚させられてしまう強い説得力です。

私は、少なくともこの本と「君に成功を贈る」を読み続けることを、毎日の習慣にしています。この2冊は、人生の指南書として双璧です。是非、皆さんに読んでいただきたい。

(この本は現在、PHP文庫から出版されています。)(山根)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で2名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、**浜松市 原様の逸品「クラウンメロン」**です。締切は4月未です。奮ってご応募下さい。

Q: 古事記編纂1300年を迎え、神話博しまねが開催されますが、開催期間はいつからいつまででしょうか?



先月号の答は、「24m」でした。抽選の結果、米子市 榎田様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

蔵書新着状況

- ・お客様に聞くだけで「売れない」が「売れる」に変わる
たった1つの質問 岡本達彦 ダイヤモンド社
- ・繁盛店の「ほめる」仕組み 西村貴好 同文館出版
- ・みんなが知りたい放射線の話 谷川勝至 少年写真新聞社
- ・マンガで親しむ出雲神話 オオクニヌシ 青雲編
- ・マンガで親しむ出雲神話 オオクニヌシ 建国編 山陰中央新報社

編集後記

去る3月17日～18日、日刀保たたら・安来製作所島上木炭銑工場であたら吹き製鉄体験事業がありました。原則、たたら製鉄は非公開で、この事業はまたとない機会です。先日、島根日産自動車株式会社櫻井様から、奥出雲たたらについて、お話を伺った直後でしたので、非常にいいタイミングでした。

初日築炉から始まり、一連の工程をすべてみる事ができ、それぞれの作業を体験させていただくことが出来たのです。その中で、私は木炭装入を体験しました。火の粉が舞い上がる中、炉に集中して3kgの木炭を装入しました。そして、最大の見所はけら出しです。一昼夜かけてできた、真っ赤なけらを目の当たりにし、太古の昔から、すごい技術があったものだと思嘆しました。日本刀に使われる玉鋼はここでしか作れません。とても誇りに感じますし、この伝統産業を大切にしたいと思います。(長野)

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。



2012
4月
Vol.227



『感動』

自分達でタンクを作った



タンク製作を行った鎌田社員(写真左)と藤原社員

道具作りから始めた手作りタンク。
藤原社員の挑戦やいかに。
この春、鳥取営業所に設置準備ヨシ！！

足場が撤去され、塗装された屋外タンクを目の当たりにし、「よくやったなあ」と感慨深かった。2月初めから、小道具作りをはじめ、2月下旬より本格的に製作にかかった。冬季、戸外での作業のため、天候に左右される。「今年は雪が多く、雪かきしながらの作業だった」と、悪天候下での挑戦でもあった。

今までにステンレスタンク等を製作した経験があり、設計図をみて、過去の記憶がよみがえってきた。その経験が再び生かされる時がきたのだ。

このたびは、藤原社員の教育をかねて、30KL屋外タンクを製作することになった。危険物貯蔵タンクなので、油を1滴でも漏らしてはならない。そのため、特に溶接に気を遣った。

3月16日、消防署の検査も無事に終わり、塗装作業を藤原社員が担当した。鮮やかなグリーンのタンクが出来上がり、あとはタンク底部に錆び止め塗装を施すのみとなった。

安原常務、河上部長たちと作業要領書、安全対策書を作成し、入念な作業を行った。事故やケガもなく、ここまでやってこれた。鳥取営業所にタンクを据え付けるまで、「ゼロ災でいこう、ヨシ！！」(鎌田)

タンク製作に入るまでに、小道具のつくり方を学び、大変参考になった。より安全で正確なタンクができるように、とても工夫がなされている。知識と技術がいっぱい詰まった、タンク製作だ。これからのほかの業務にも生かされると思う。

(藤原)
(聞き手 長野)



藤原社員が両手に持つのは溶接箇所を是正する小道具。面と面を合わせ、板の目違いを是正します。



社内一番の社員を目指せ

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

今期の基本方針は、

- 1.私は、自分と会社の良いところをもっと伸ばします。
- 2.私は、自分で計画を考え、自分で実行して、自分の立てた目標達成に責任を持ちます。
- 3.そして私は、この業界でナンバーワンの人財になります。

社内一番の社員を目指す若手が育っています。新人の収集マンの金森社員は、先輩の指導に従って、最近誰も挑まなかった出雲地区で闘志を燃やし、過去最大数量に達し、収集部門に活力を与えている。

勝部社員は、危険物免許を乙種1類からコツコツ取得し、6類まで完結させた。この秋、誰も挑んだことのない甲種に挑戦する。

それ以外にもチームを組んで新しく挑戦している社員達がいる。

- ・メーカーと協力し、二つ以上の機能をローリー一台に集約させた。結果利便性の高さ。CO2削減。燃費低減。省力化。コストダウンなどの画期的なローリーを開発した。

- ・既存のリサイクル油に使用済みの食料油を混合し、環境にやさしい新しい燃料の開発とJIS規格化への取り組み。
- ・もっと鳥取地区に地域貢献する「We Love とっとり」作戦をスタート。
- ・既設の地下タンクを、もっと安全に、長期に延命させる新しいコーティング技術の習得を始めた。
- ・ベテラン社員と若手社員が、30KL地上タンクを自社製作した。
- ・SANシステムの範囲を広げ、精度を上げる。データによる業務管理で、会社成長の「縁の下の力持ち」。もちろんこのほかにも「私はまず、これで一番になります！！」と期首に立てた「個人の目標達成」に向かって挑んでいる。「企画力」一番！「笑顔」一番！「身だしなみ」一番！「掃除」一番！などなど。

今期はあと4月と5月を残します。期末まで、そして来期も続けて自分と会社の良いところをもっと伸ばす。そして会社に活力をみなぎらせ、お客さまから強く強く必要とされる社員になって欲しい。

私はこう考え、こう実行します

【安原】今期の目標を達成する為に、フットワーク一番をやり遂げます。

【松下】お客様が、なるほどと感心するような提案を行い、現実化させる。

【河上】私は、お客さまの困ったに答える社員になります。

【岸本】目標としてかかげた「報・連・相」一番をあとの2ヶ月徹底して実行する。

【福間】まずは、自分の長所が何か見つける。

【福島】人財育成の継続に努める。

【吾郷】目の前のやるべき事をコツコツと進めます。

【大國】お客様に必要とされる収集マンになる。

【木村】エマルジョンプレーカーの実験を行い、うまく活用します。

【山口】私は清掃一番を目指し一つずつきれいにします。

【榎並】今期の売上目標が達成できる様、皆で協力して取り組みます。

【木村憲】目標に向かって地道に取り組む。

【横地】残り2ヶ月、自分の収集目標が達成できるように、全力で挑みます。

【岡田】自分の知識をさらに高め、お客様に必要とされる人になります。

【植尾】コーティング技術、知識のレベルアップ

【石橋】お客様の目を見て話したまた目を見て話を聞きます。

【松本】自分で立てた目標に全力で取り組みます。

【小村】KYSは力仕事なので体力を付けて誰にも負けない体をつくる。

【高橋】私は化学に興味を持つ努力をします。

【長谷川】お客さまから強く必要とされるよう努力します。

【岩本】期末に決意した一番を徹底してやり抜きます。

【藤原】社内で一番になれるよう頑張ります。

【勝部】甲種取得を目指します。

【金森】笑顔で仕事を行い、お客さまから必要とされる社員になります。

【藤原大】私は誰よりも大きな声であいさつを行います。

【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全(KY)を徹底し、安全作業が出来る様、常にチェックし、作業を実行します。

【清水】私は、色々なことに挑んで結果を出したいと思います。

【足立】1件、1件の電話にていねいに対応します。

【長谷川真】少しでも会社に貢献できるように、今、自分に出来る事を精一杯やります。

【長野】読書を通して、知識を増やします。



庭に咲いたオダマキ



目標達成！！

3月の収集活動お疲れ様でした。

目標数量達成でおめでとう！

今月は月初に福島SMによる収集心意気を改めて学びました。その教えを理解し、収集係内でお互いを意識し、目標に貪欲になったことで、各収集メンバーが自己最高の数字を出すことができました。

特に金森社員は新人ながら2ヵ月連続での数量更新と、訪問件数〇〇軒超えの達成でした。

また、横地社員は公言通り、平日の訪問件数〇〇件以上を見事全日で達成しました。しかも〇〇件超えが2日間もあり、結果〇〇軒の過去最高ギネス記録です。

吾郷リーダーは、緊急対応や収集外活動をしながらか、最終日から5日前での目標達成！

大國リーダーは、鳥取進出活動と新規営業をしながらかの目標達成！

山口リーダーは、収集範囲が広いエリアにも関わらず、2日残しでの目標達成。

松本社員は、船作業で時間を取られながら、自分の担当地区を持ったという責任感で、毎日の訪問件数を意識して達成！

長谷川社員は、目標達成を絶対に諦めないと強く誓い、遠方にも関わらず最終日に2回戦をして何が何でも達成するという意気込みで達成！ (福岡)



日本一の収集チームをめざせ！！

今回、福島SMより、今の収集活動では競合に負けてしまうという危機を感じ、緊急の会議を開きました。ベテランの収集メンバー全員が今までの活動を反省し、3月は新たに個人目標を設定したうえで、収集活動をした結果、7人全員が収集量の目標を達成することが出来ました。

しかし、これに満足してはいけません。お客様にご迷惑をかけない収集活動を徹底して行うこと。特に、訪問スケジュールはお客様の立場に立って計画し実行する。決して自分本位の訪問スケジュールであってはけません。

この地方から排出される使用済み潤滑油は、この地域の貴重なエネルギー資源です。収集メンバーの力を集中して、一滴も漏らさず山陰地区以外には出しません。私たちが地域内ですべて有効利用します。お客様に迷惑を掛けることなく、安心を提供する、収集活動に徹することをお約束します。

(松下)



安全講習

～タイヤの日常点検・整備～

そろそろ冬用タイヤから夏用タイヤに交換する時期です。それに合わせ、タイヤの日常点検、整備時の注意事項を学びました。

ボルトおよびナットがすべてついていないか目視点検しますが、錆汁が出ていないか点検します。錆汁がでていると、ナットが緩んでいる可能性があります。

また、テストハンマーによってナットの緩みやボルトの折損を調べました。ナットの下側に指を添え、テストハンマーでナットの上側面を、ナットが締まる方向にたたきます。緩んでいるナットは明らかに音が違い、緩んだナット

を発見することができました。緩んだナットは、トルクレンチを使って、締めおきました。

(長野)



工場改善・・・

安全作業のために

サイトウ式超遠心機のボウルナット分解ハンドルを更新しました。オーバーホール用治具で、使いやすいように工夫しました。

もち手の幅を狭く、長さを短くしました。これは、力を加えるとき、力を分散しないようにするためです。次に、分解ハンドルに付いている突起の形をかえました。これは、遠心分離機を分解するとき、工具と本体との当たり面を増やすためです。その結果、少しの力で、十分な能力が発揮できるようになり、作業効率は劇的に改善されました。

(木村)

効率よく作業し、安全なメンテナンスを考えた結果、メーカーの治具以上に優れた治具ができました。これからもちょっとしたことのひらめきが大きな改善につながります。

(松下)



分解ハンドルの更新前(写真右)と更新後